

名古屋

若い感性生かす 組織を立ち上げ

印刷加工・紙卸のミツモリ

印刷加工・紙卸などを手掛けるミツモリ（本社名古屋市区郡古野2の22の15、三ツ森文治社長、電話052・562・5505）は、若手社員で構成する組織を立ち上げた。地域の幼稚園や児童館でワークショップを定期的開催していくほか、若い感性を生かして社内活性化につながる方策を検討する組織として活動する計画。（酒井田梨央）

地域貢献と社内活性化へ

情報は名古屋デスクへ

TEL052(561)5212
FAX052(561)5207

WEBでの申し込み

中部経済

検索

母の日
日頃の感謝を
伝えよう

部屋 セレブ

S-POINT
<https://www.spoint.jp/>



活動発表会に参加するミツモリのメンバー



会議の様子

近隣施設でワークショップも

組織名は、「MU35」（エムユーサンゴ）。「ミツモリで働く35歳以下」の頭文字から命名した。組織名の通り、35歳以下の社員が8人で構成する。メンバーは営業、制作、管理など所属部署はさまざま。メンバーの一人は「これまでに異なる配属先の社員と関わる機会がなく、若手同士のコミュニケーションがとれなかったと明かす。エムユーサンゴは社内横断組織として、若手社員の交流の場としても位置付けている。

近隣施設でワークショップも
組織名は、「MU35」（エムユーサンゴ）。「ミツモリで働く35歳以下」の頭文字から命名した。組織名の通り、35歳以下の社員が8人で構成する。メンバーは営業、制作、管理など所属部署はさまざま。メンバーの一人は「これまでに異なる配属先の社員と関わる機会がなく、若手同士のコミュニケーションがとれなかったと明かす。エムユーサンゴは社内横断組織として、若手社員の交流の場としても位置付けている。

ある小牧市の児童施設を中心に、ワークショップを開催してきた。昨年4月、こまきこども未来館で開催された、持続可能な開発目標（SDGs）がテーマのイベント「交流・体験CAAMP」に参加し、自社で排出される紙の断裁くずや端材を用いたはがきの貼り絵体験を企画した。メンバーの一人は「30人の子どもたちが参加し、大きな問題にな

く実施できた」と笑顔を見せる。今年2月には、子ども職業観を養うイベント「おしごと冒険CAAMP」の立ち上げにも携わるなど活動の幅を広げている。

三ツ森社長は「若い感性や力を、自社の取り組みに反映させていきたい」と話しており、社外活動のみならず、社内の活性化につながる取り組みにも注力していきたいと考へた。メンバーの社員も「コロナ禍からの回復傾向にあるため、社員とのランチ会やレクリエーションなどを企画していきたい」と意気込んでいる。